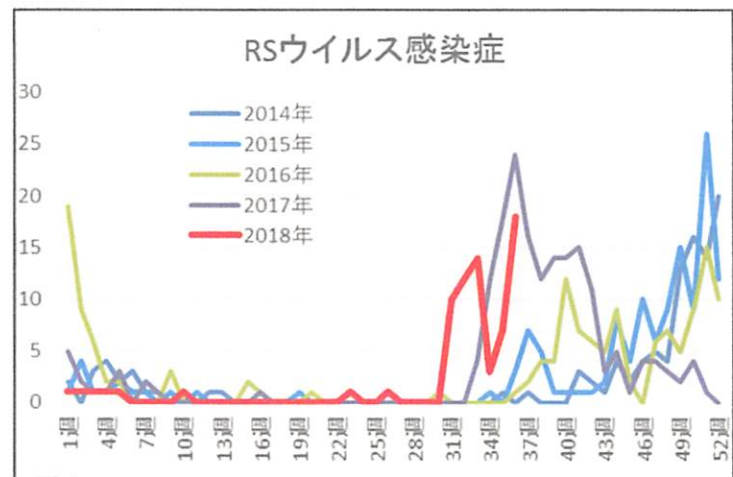


# 週間感染症情報

2018年36週 2018年9月3日より2018年9月9日まで

麻疹		<p>豪雨・台風・地震と大きな災害が続いています。自分たちのこととして対策を立てて備える必要があると思います。</p> <p>涼しくなり、鼻汁咳など感冒症状の症例が増えてきました。多くはライノウイルスによるものです。いわゆる鼻かぜの原因で、潜伏期は短く1-3日です。頭痛・のどの痛み、鼻詰まり、くしゃみが起こります。</p> <p>水痘はワクチン接種1回済みの市内保育園児で、非常に軽症でした。</p> <p>ムンプスは疑い例で、吉備中央町の3歳児です。軽症で抗体検査で確定します。</p> <p>手足口病は、市内の保育園1-2歳児で流行しています。口内疹が目立ち、食べれなくなる症例もあります。</p> <p>伝染性紅斑は、市内全域で流行しています。登園許可書は必要ありません。</p> <p>感染性胃腸炎は、カンピロバクター(6歳)1例、サルモネラ07(6ヶ月)1例の報告があります。</p> <p>RSウイルス感染症は、市内で流行しています。乳児が患すると細気管支炎や肺炎を起こし入院が必要となる事があります。繰り返して患し次第に軽症となっていきます。保育所で検査をしてもらってくださいと言われたと受診する保護者がいますが、周囲で患者が出ており</p> <p>同様な症状ならば、感染していると考えられ、検査の必要はありません。熱が下がり、食欲も出て元気になれば普通のかぜと同様に対応してください。</p>
風疹		
水痘(みずぼうそう)	1	
ムンプス(おたふくかぜ)	1	
百日咳		
溶連菌感染症	8	
手足口病	9	
ヘルパンギーナ		
伝染性紅斑	19	
感染性胃腸炎	22	
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	4	
伝染性膿痂疹(とびひ)	15	
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症	7	
RSウイルス感染症	18	
マイコプラズマ感染症	1	
インフルエンザ(臨床診断含む)		
インフルエンザA		
インフルエンザB		
ヒトメタニューモウイルス		



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)